

ギカイだより



1

GIKAIDAYORI
contents

3月定例会の概要	2~3
一般質問	4~8
委員会レポート等	9
審議結果	10
政務活動費収支報告	11

わがまちの
あすすめスポット

発見!

知る人ぞ知る!?

さて、ここはどこでしよう?

こたえは裏表紙をご覧ください。→

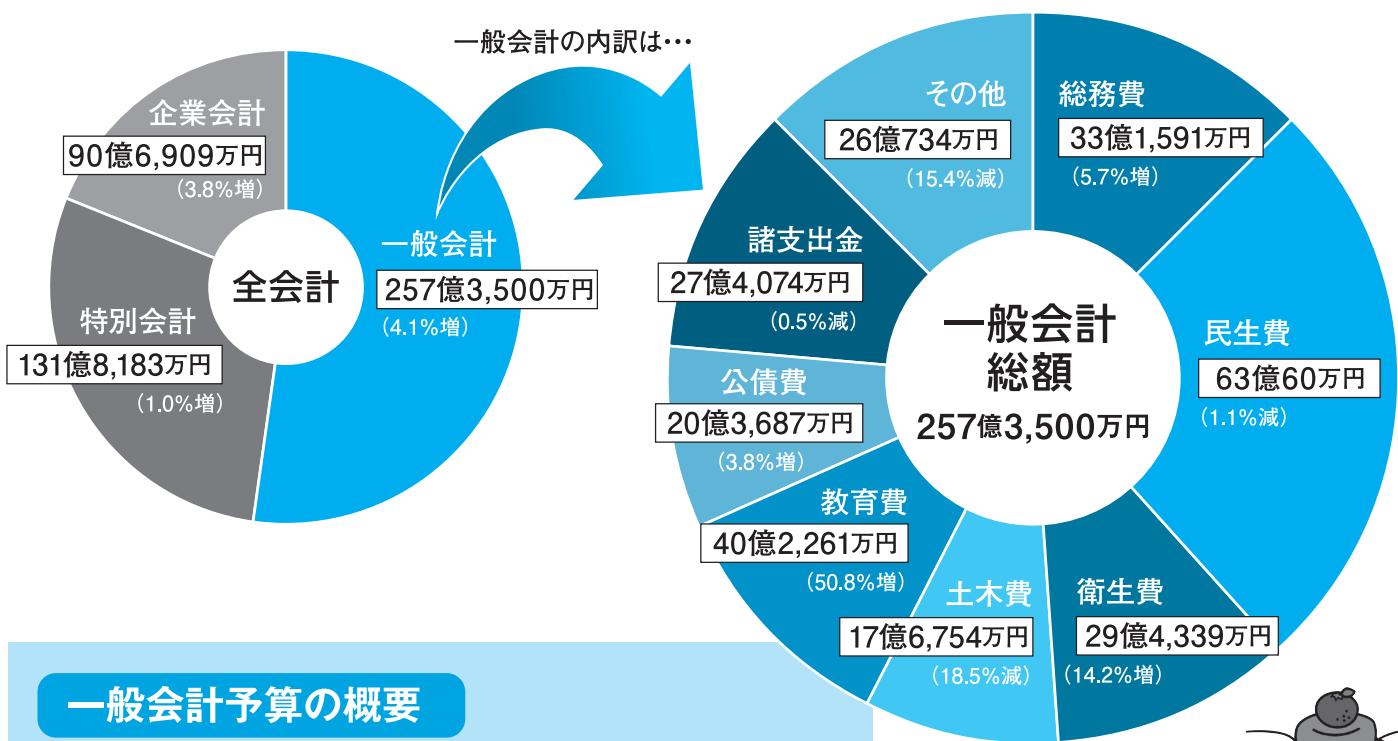
2

3月定例会の概要

3月定例会では、初日に市長から施政方針が示されるとともに令和4年度一般会計予算など11会計の当初予算案をはじめ、条例制定案1件、条例の一部改正案8件、令和3年度補正予算案7件の計27件が提案され、各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には市長より提出された人事案件2件及び議会運営委員会より提出された坂出市議会委員会条例の一部改正案が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。（議案の審議結果は10ページをご覧ください。）

令和4年度 一般会計・特別会計・企業会計予算 総額479億8,592万円を可決



一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べて10億1,030万円の増額予算となっています。
- ▼歳入では、依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、個人市民税や法人市民税をはじめとする市税において、コロナ前の水準近くまでの回復が見込まれるもの、臨時財政対策債を考慮した実質的な地方交付税は大幅な減収が見込まれます。
- ▼歳出では、企業立地促進助成金等の減により補助費等が減額となる一方で、学校給食センターの建設事業に伴い、投資的経費について大幅な増額となっています。

さらには、小学校給食費無償化事業やまちづくり未来基金の創設など、次代を担う若い世代から「住みたいまち」として選ばれる新たなまちづくりを推進するため、積極的に予算を投入しました。また、ゼロカーボンシティの実現、安全安心のまちづくりや公共施設の老朽化対策、コロナ関連経費など多額の一般財源を要する事務事業への対応を講じた結果、生じた財源不足約7億7,900万円については、財政調整基金からの繰入金により対応しました。

用語解説

一般会計

福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計

一般会計とは別に国民健康保険事業や介護保険事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計

病院事業や下水道事業のように利用者が負担する経費（診察料や使用料）によって運営される会計のこと

財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの



主な議案を Pick UP ピックアップ

令和4年度 坂出市一般会計予算

道路照明灯をLED化します。

本市は、「ゼロカーボンシティ」を宣言し、温室効果ガス排出量の削減に積極的に取り組むこととしています。このため、本宣言の実現に向けた取組の一つとして、既存の道路照明灯について、灯具をLED化し環境負荷の低減を図ります。



小学校の給食費を無償化します。

今年度運営開始予定である学校給食センターにより、「給食」を接点として、子供たちのふるさとへの愛着を育むとともに、小学校の給食費を無償化することで、子育て世代から選ばれるまちの実現をめざすものです。



令和3年度 補正予算の概要

議会費

議員行政視察旅費等

△582万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、常任委員会及び議会運営委員会の行政視察などを実施しないこととしたことにより、減額するもの。

民生費

保育士等処遇改善臨時特別事業費補助金

428万円

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、保育士等・幼稚園教諭を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提とし、収入3%程度(月額9,000円)引き上げるための措置を令和4年2月から前倒しで実施することとされたことを踏まえ、保育士等の処遇改善を行うもの。





植條敬介議員(市民グループ未来の会)

Q&A一般質問

一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めたりするために行うものです。

3月定例会でのみ所属議員3人以上の会派が代表質問(時間120分)を行うことができます。今定例会では3会派が代表質問を行い、4名の議員が個人質問(時間60分)を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。(代表質問は4~6ページ、個人質問は7~8ページに掲載しています)

代表質問



植條
うえじょう
敬介
けいすけ
議員
ぎいん
市民グループ未来の会
しみんぐるーぷみらいのかい



持続的な財政運営を

Q 今後も厳しい予算編成は避けられない中、どのような方針のもと持続的な財政運営を行っていくのか。

A 市民が心豊かにゆとりを持って暮らせるまちづくりを推進するためには未来への投資が欠かせず、老朽化した公共施設の更新などにも多額の財源を要し、今後さらなる財源の確保が必要となると考えています。

持続可能な財政運営を進めるために、歳入面では、市有資産の有効活用や売却などを検討するとともに、ふるさと納税の增收に向けた取組を行うなど自主財源の確保に取り組んでいきます。また、歳出面では、民間が持つ技術や資金を最大限生かすため公民連携に積極的に取り組むとともに、個々の事務事業について実施の意義や効果を検証し、事業の廃止・見直しを検討するなど行財政運営の簡素効率化と財政構造の健全化に全力で取り組み、自立的かつ積極的な行政運営に必要となる安定した財政基盤を構築していきます。

(総務部長)

JR坂出駅前再整備等の進め方は

Q JR坂出駅前の再整備のためには行政主導による明確なビジョンの策定及び公民連携ができる枠組みの構築が重要であるが、どのように進めていくのか。

A JR坂出駅前再整備に向け、令和4年度に、まず、基本構想を策定します。

事業の実施のために必要となる公民連携による整備運営手法について具体的な検討を進めるとともに、府内においては検討委員会を立ち上げ、駅前複合施設の整備方針について合意形成を図っていきます。また、駅前複合施設の活用について、坂出の将来を担う高校生を対象としたワークショップの開催を予定しており、高校生からの提言も参考にしながら、駅前再整備におけるイメージパースや基本方針、ロードマップ等を作成していきます。

(市長)

公共施設管理の進捗状況とマネジメントの推進

Q 公共施設管理の進捗状況は、また、市内全体の施設を総合的に維持管理するに当たり、具体的なマネジメントの推進に関する考えは。

A 令和3年度には、市民ホールの改修、市立体育館の特定天井では、火葬場整備事業として基本計画の策定、旧藤田外科解体事業の実施などを予定しており、公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進していきます。

今後、着実に公共施設のマネジメントを推進していくますが、JR坂出駅前の複合施設の整備方針、コミニティー施設の在り方にについての検討、さらに、将来の公共施設の適正配置は、学校施設の再編整備と密接な関連性を有することから、その方向性も見定め、総量抑制、多機能化・複合化による公共施設の適正配置について議論を深めていきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・緩衝緑地再整備計画について
- ・子育て世代に選ばれるまちづくりについて
- ・ゼロカーボンシティの実現に向けた取組についてなど



吉田耕一議員（新政会）



●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

代表質問



吉田
耕一
議員

新政会



ゼロカーボンシティの実現に向けた取組は

商店街の将来像は

本市でも早急にパートナーシップ宣誓制度は、
本市でも早急にパートナーシップ宣誓制度は、
あると考へるが、所見を伺う。

Q ゼロカーボンシティを実現するためにはどのような取組を考えているのか。

A 令和4年度には、再生可能エネルギーの導入に向けた調査を実施した上で、坂出市再生可能エネルギー導入推進計画を策定します。

具体的な事業では、まず、宅配の再配達による温室効果ガスの増加に関し、再配達を減少させる取組として、宅配ボックスの設置に関する補助制度を創設します。また、市内の道路照明灯をLED化し、使用電力を削減とともに、本庁舎と教育会館の使用電力について再生可能エネルギー100%電力を導入し、温室効果ガスの削減を図ります。

（副市長）

Q 商店街及びその周辺地域は、
な地域であるが、市長が考える将来像について伺う。

A 駅周辺のエリアの評価を上げることにより、中心市街地の価値を高め、商店街周辺にその好影響を波及・連鎖していくことが重要です。エリアの価値が高まることにより、積極的な民間投資が誘引され、マンションやアパート等の需要を生み出し、商店街及び周辺地域を住みみたい場所に変えることができるものと考えています。そうすること

で、自然と人が集まり、新しいまちが生まれてきます。

（市長）

Q パートナーシップ宣誓制度は、
その一方または双方が性的少
数者であるカップルが、互いを人生
のパートナーとして相互の協力によ
る継続的な共同生活を営むことを
宣言し、地方自治体が証明書を交
付することで、婚姻に近い関係性を
公認するものです。

本市における当該制度の導入につ
いては、市民の性的少数者への正
しい知識と理解が重要と考えてお
り、市広報紙やホームページなどを
活用した啓発活動を行いながら、令
和4年6月の導入に向けて取り組
んでいきます。

（市長）

Q パートナーシップ宣誓制度
の導入を

- 質問の主な項目
- ・新型コロナウイルス感染症について
 - ・坂出北インター・チャンジのフルインターチェンジについて
 - ・道路行政についてなど



村井孝彦議員（政志会）



●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

代表質問



村井 孝彦 議員
政志会



市民が望む市政運営を

Q 市民に市政について分かりやすく伝え、市民が望む施策を講じていくことが市政運営において重要であるが、所見を伺う。

A 新型コロナウイルス感染症のまん延により、会議等の中止や書面決議となる中、市長は機会を捉えて出前ミーティングや講演などを実行しており、少しでも多くの市民に分かりやすく説明しています。そして、講演の後には質問時間を設けるとともに、アンケートも実施するなど市民の生の声を聞いています。

また、テレビ広報番組及びFM放送に出演するとともに、ホームページにて、市長の活動報告や市長メッセージを数多く掲載するよう努めています。

（総務部長）

学校施設を中心とした魅力あるまちづくりを

Q 学校施設再編整備が行われた場合には、学校施設を中心とした環境整備を行うことで、魅力あるまちとして選択肢の一つとなると考えるが、所見を伺う。

A 本市が多くの方から選ばれるまちとなるために、仕事や消費機会などについて、まちの中に多様な選択肢があることが魅力となると考えます。また、中心市街地はもちらんのこと、郊外において緩やかな人口集約を促すため、複数の拠点形成を行っていくことが望ましいと考えています。

その点、学校施設は居住誘導性が高いことから、本市としては、学校施設再編整備による方向性を見定め、それを次期都市計画マスター プランの策定や公共施設の適正配置等の検討の際の参考にし、まちの持続性の確保及び多様な居住環境を選択できるまちの実現につなげていきます。

（総務部長）

学校教育環境等の改善を

Q 小学校給食費の無償化よりも、まず、教育施設や教職員、教育内容の充実等、学校教育環境そのものの改善、質の向上を図ることが重要であると考えるが、所見を伺う。

A 小学校給食費の無償化は、次代を担う子供たちの成長を市民全体で支えることによって、安心して子育てできるまちとして、全力で支援する市の姿勢を示すものです。

また、学校教育環境の改善も必要であると考えており、給食費の無償化とは別に、教育環境の改善についても、引き続き取り組んでいきます。

（市長）



質問の主な項目

- ・地域経済の発展について
- ・コロナ禍による影響と対策について
- ・市有地の有効活用についてなど

Q&A

一般質問



スマートフォン等の講習会を開いてはどうか。
(市長)

本市におけるデジタル支援については、市民課においてマイナンバーカード申請時の支援や政策課においてマイナポイント手続の支援を取り組んでいます。
府内の支援窓口については、継続して設置し、利便性の確保を図るとともに、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を目指し、市民を対象としたスマートフォン講習会の実施についても、ノウハウを持つた民間事業者と連携し、開催に向け検討しているります。
(市長)

(建設経済部長)

スマートフォン等の講習会を開いてはどうか。



若杉 輝久 議員

公明党議員会



市営住宅入居に係る連帯保証人制度の見直しを

スマートフォンの使い方やコロナワクチンの予約方法、さらにマイナポータルの使い方等について講習会を開いてはどうか。

セーフティネット確保のために、連帯保証人の廃止や家賃債務保証業者の選択を可能とするような制度の見直しについて所見を伺う。

A

本市におけるデジタル支援については、市民課においてマイナンバーカード申請時の支援や政策課においてマイナポイント手続の支援を取り組んでいます。

市営住宅の連帯保証人は、現状では滞納抑制のために一定の役割を担っているものと考えていますが、今後、単身高齢者の増加など、保証人の確保が難しい住宅困窮者の状況によっては、連帯保証人に関する規定の見直しについて検討が必要であると考えています。また、家賃債務保証業者を市営住宅の連帯保証人として選択可能とする制度改正については、保証人の確保が難しい方の入居の円滑化が図れることから、既に制度を導入している県や他市町の状況も踏まえ、検討していくないと考えています。

これまで市広報紙、ホームページにて啓発記事を掲載するとともに、啓発パンフレットを活用し、市民に性的少数者の現状や課題などの理解促進を図ってきました。令和4年度においては、8月に当事者団体から講師を招き、市民を対象とした講演会を開催する予定であり、今後とも、市民の正しい理解が得られるよう積極的な啓発活動を継続していくないと考えています。

(市民生活部長)

いざれにしても、誰もが性の多様性について正しい理解を持ち、互いに認め合うことで、自分らしく生きていける社会の実現に向けて、これからも取り組んでいきたいと考えています。

(建設経済部参事)



LGBTQ+について周知啓発を



植原 泰 議員

国民民主党議員会



コミュニティー交通における実証実験の実施を

市民と市が共同で実証実験を行うことで、市民がコミュニティー交通を考えるきっかけになると考えるが、実施について検討してはどうか。

A

これまで市広報紙、ホームページにて啓発記事を掲載するとともに、啓発パンフレットを活用し、市民に性的少数者の現状や課題などの理解促進を図ってきました。令和4年度においては、8月に当事者団体から講師を招き、市民を対象とした講演会を開催する予定であり、今後とも、市民の正しい理解が得られるよう積極的な啓発活動を継続していくないと考えており、坂出市地域公共交通計画において、それぞれの地域に適した施策を総合的に検討していく中で、調査研究を進めています。

また、計画に定めた施策を実施する際には、地域住民との対話を重ね、必要に応じて実証実験運行についても検討を行つてきます。

A

地域住民が主体となつたコミュニティー交通については、人口減少や高齢化が進む現状において、持続可能な公共交通の有効な手段の一つであると考えており、坂出市地域公共交通計画において、それぞれの地域に適した施策を総合的に検討していく中で、調査研究を進めています。

また、計画に定めた施策を実施する際には、地域住民との対話を重ね、必要に応じて実証実験運行についても検討を行つてきます。

一般質問

Q&A



野角 満昭 議員
のがく みつあき

無所属



新型コロナウイルス感染症に対する体制強化を

本市独自の経済的支援を

関係人口増加の取組

定時放送の音楽変更を



小笠原 浩 議員
おがさわら ひろし

国民民主党議員会



Q 地域の医療体制の確保、自宅療養者に対する支援及び保健所との連携をどのように整えていくのか。

A 地域の医療体制の確保については、坂出市医師会において中讃保健所を支援するため、坂出市内の自宅療養者の健康観察を実施するなど医療支援を開始しています。また、自宅療養者本人への食料支援を中讃保健所が実施していますが、令和4年2月から本市において、自宅療養者の同居家族に対して、自宅療養者の同居家族に対する食料支援を開始しています。

(健康福祉部長)

Q 生活に困っている非正規労働者及びひとり親世帯や、売上が減少した中小企業・個人事業者に対して本市独自の支援が必要と考えるが所見を伺う。

A 非正規労働者に対する本市独自の支援策はありませんが、ひとり親世帯に対する経済的支援についてはコロナ禍で負担が増えていますから、令和2年度に児童扶養手当2か月分を本市独自に支給しました。引き続き諸問題に注視し、時々に応じて適切な支援を講じていきます。

(健康福祉部長)

Q 関係人口増加の取組として、飛弾市が行っているようなファンクラブを設立することなどにより、まちの価値を高めることができると考えるが、所見を伺う。

A 関係人口の増加は、市民が地域の魅力を再認識するきっかけとなったり、地域内外の交流により、まちに新たな魅力やにぎわいが生まれることにもつながります。これらの人に対してもつながります。このような機会が増え、地域外から来られた人に対してオープンな雰囲気が地域に醸成されることで、移住者にとっても魅力あるまちづくりにならうことから、関係人口の増加は積極的に取り組むべきテーマと認識しています。

A 令和3年度に事業者の支援として、坂出市がんばる事業者応援金などを実施しており、本市としては、一定の効果を得たものと考えています。

引き続き、事業者への影響について関係機関と協力し、実態把握に努めるとともに、国等の支援の動向についても注視しながら、支援策について検討していきます。

(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・男女共同参画について

(総務部長)



質問の主な項目

- ・カーボンニュートラルポート形成に向けた取組について

Q 同報系防災行政無線について、正午と午後5時に定時放送されている音楽を市民の地元愛向上のために、本市ゆかりのサヌカイトによる音楽に変更してはどうか。

A サヌカイトの演奏による音楽への変更については、本市ゆかりのサヌカイトが奏てる音色が、市内全域に流れることにより、市民に幅広く親しんでいただき、本市を訪れた方にも、本市の魅力を知っていたらよい機会になることから、実現に向けて検討していくたいと考えています。

(市長)



委員会

Report

付託議案
15件

教育民生 委員会

議案第55号については賛成多数により可決、その他は全て全会一致で可決



障がい者福祉タクシー運賃の一部を助成します

在宅の重度心身障がい者の活動範囲を広め、社会参加を促すため、利用するタクシー料金の一部を助成します。

対象者

市内在住の在宅障がい者で下記に該当する方

- ①身体障害者手帳1級
- ②療育手帳Ⓐ
- ③精神障害者保健福祉手帳1級

内容

1枚500円×24枚=12,000円を1セットとし、申請に基づき配布します。

3月定例会の日程

3月 3日	本会議 委員会	施政方針、提案説明 議会運営委員会
3月 9日	本会議	一般質問(代表)
3月 10日	本会議 委員会	一般質問(個人) 議会運営委員会
3月 11日	本会議 委員会	議案質疑・委員会付託 議会運営委員会
3月 14日	委員会	総務消防委員会の審査
3月 15日	委員会	教育民生委員会の審査
3月 16日	委員会	市民建設委員会の審査
3月 24日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 追加議案への質疑・討論・採決

付託議案
8件

総務消防 委員会

全議案全会一致で可決



消防団員の報酬が引き上げられます

地域防災体制の中核的役割を果たす消防団員が全国的に大幅な減少傾向にあります。このような中、総務省消防庁より消防団員の減少を防ぐため、消防団員の処遇改善を目的とした通知が出されたことを受け、本市においても消防団員の報酬を見直すことで、団員の確保ひいては市民の安全・安心につなげていきます。

団員報酬(年額)

	現行	見直し後
副分団長	49,300円	⇒ 62,100円
部 長	39,100円	⇒ 51,900円
班 長	30,900円	⇒ 43,700円
団 員	23,700円	⇒ 36,500円

※出動報酬についても見直されます。

付託議案
8件

市民建設 委員会



議案第52号及び議案第55号については賛成多数により可決、その他は全て全会一致で可決

リサイクルプラザの処理手数料が変わります

リサイクルプラザへのごみの搬入量増加などに鑑み、自己搬入した際の処理手数料を改定します。



内容(令和4年7月1日~)

- 家庭系一般廃棄物
(リサイクルプラザへ自己搬入したもの)
100kgまでは1,000円
(100kgを超えて10kgを増すごとに、100円を加算した額)
- 事業系一般廃棄物
(リサイクルプラザへ自己搬入したもの)
100kgまでは2,000円
(100kgを超えて10kgを増すごとに、200円を加算した額)

令和4年 3月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=19名
※議長は表決には加わりません。



市長提出議案

議案第52号 坂出市リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例制定

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

小笠原浩、植原 泰、寒川佳枝、丸岡豊和、山条真嗣、脇 芳美、東原 章、
鳥飼年幸、若谷修治、若杉輝久、茨 智仁、楠井常夫、吉田耕一、村井孝彦、
大藤匡文、前川昌也、植條敬介、大前寛乗

野角満昭

反対意見(要旨)

本市の処理手数料は、他市と比較しても安価であり、手数料の引上げは利用者への負担増を強いることから、改正に反対である。



市長提出議案

議案第55号 令和4年度坂出市一般会計予算(案)

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

小笠原浩、植原 泰、寒川佳枝、丸岡豊和、山条真嗣、脇 芳美、東原 章、
若杉輝久、茨 智仁、楠井常夫、吉田耕一、大藤匡文、前川昌也、植條敬介、
大前寛乗

鳥飼年幸、若谷修治、
野角満昭、村井孝彦

賛成意見(要旨)

子育て世代から選ばれるまちづくりを実現するためには、他市に先駆け、尖った施策、本市に住むことでお得を感じてもらえるような施策が必要である。

反対意見(要旨)

学校施設及び教育環境の整備充実が最優先課題であり、小学校給食費無償化には反対である。(鳥飼議員、若谷議員、村井議員)

同和対策団体補助金(野角議員)、ごみ処理手数料有料化事業(野角議員)に関し反対である。

議案
(可決・同意)
全議員が賛成した

市長提出議案

予 算

令和4年度坂出市国民健康保険特別会計予算(案)など 17件

条 例

坂出市まちづくり未来基金条例制定など 8件

そ の 他

坂出市公平委員会委員の選任など 2件

委員会提出議案

坂出市議会委員会条例の一部を改正する条例制定

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】を
ご覧ください。

3月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市公平委員会委員

瀬戸 早苗 中川 靖夫

◎人権擁護委員候補者

中村 修二 山下 芳子

ロシアによるウクライナ侵攻に 抗議する決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、ロシア軍の即時かつ無条件での撤退を強く求めるとともに、日本政府に対し、平和的な解決に向け、国際社会と緊密に連携し、厳格かつ適切な対応を行うよう要請するため、決議しました。

ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」 5月から再開します!!

市議会の仕組みや議員の活動をわかりやすくお伝えできるよう、広報広聴委員会で活発に議論をしながら企画しています。ぜひご視聴ください。(FMサン76.1MHz「Weekday みっくす内」とKBN地上111ch) ※次回放送日は、SNS等で告知します。

また、坂出市議会広報広聴委員会のSNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラム)を開設し、議会情報を発信していますので、ぜひフォローをお願いします。



ツイッター

フェイスブック

インスタグラム

令和3年度

政務活動費 收支報告



政務活動費ってなに?

政務活動費とは、
地方自治法に基づき、市長が議員の
調査研究その他の活動に資するため必要な經
費の一部として交付するものです。その交付額
や交付対象については、坂出市議会政務活動費
の交付に関する条例で定めており、各会派
に対し所属議員1人当たり年額25万円を、
またいざれの会派にも所属しない議員に
対し年額25万円交付しています。



(単位 円)

会派名または議員名	会派名					議員名(無所属)	
	市民グループ 未来の会	新政会	政志会	公明党 議員会	国民民主党 議員会	野角 満昭	脇 芳美
会派人数	6人	5人	3人	2人	2人	—	—
交付額	1,688,400	1,250,000	561,600	500,000	416,000	250,000	250,000
調査研究費	0	0	503,800	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	105,420	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
調査旅費	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	0	0	0	12,540	0	0	0
広報費	0	317,900	0	0	0	250,000	0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0
残額	1,688,400	932,100	57,800	487,460	310,580	0	250,000

*令和4年3月31日現在の会派または議員について掲載しています。年度の途中で所属議員数に異動が生じたときや新たに会派が結成されたときは、交付額が変更になります。

どういうことに
使えるの?

会派または議員が行う調査研究、研修、各種会議への参加、広報、広聴、要請・陳情活動など、市政の課題や市民の意見を把握し、市政に反映するための活動等が対象になります。政党活動、後援会活動、私人としての活動のための経費等は対象となりません。

毎年度終了後に、領収書の写し等の証拠書類を添付した收支報告書を議長に提出することになっています。議長が收支報告書の内容を確認した後、市長へ收支報告書の写しを送付します。残額があった場合はすべて市長へ返還します。

さらなる透明性確保のため、收支報告書に加えてすべての領収書をホームページで公開しています。

領収書は添付
しているの?

議員の寄附行為等の禁止について

公職選挙法により、議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、特定の場合を除いて一切禁止されています。また、有権者が議員に対して寄附を求めることが禁止されています。※詳細は坂出市議会のホームページに掲載しています。

1 延命地蔵

所在地：本町2丁目

私が、10歳くらいの時に祖母によく連れられて来ていた場所があります。それは、旧鍛冶屋町の一角にあるお地蔵様です。

地蔵通り商店街の名前の由来になったこのお地蔵さまは延命地蔵と呼ばれ、「讃岐阿野郡坂出村に住んでいた信仰心厚き稻毛惣次郎という人が難病にかかり夢の中で火の玉と共に地蔵尊のお姿を拝するに到り文久元年（1861年）酉年5月23日当地に建立されたもので」以来地域の方々の手で守られてきました。隣には金比羅さんも祭られています。昨年は25年ぶりに護摩法要が行われました。

昔、ここには鉄棒があつて、私は逆上がりの練習をしていました。ここではできるのに、学校の鉄棒ではできなかつた記憶があります。（植原）

わがまちの
発見!
おすすめスポット



参考：延命地蔵内の石碑より

2 ナカンダ浜周辺

所在地：沙弥島

風光明媚な瀬戸内海と日本の橋100選の瀬戸大橋を望めるナカンダ浜は、過去と現代が融合した風景を楽しむことのできる名所です。瀬戸内国際芸術祭の総合ディレクターでもある北川フラム氏は、ナカンダ浜に額縁を設置するだけで素晴らしい作品になるとも評されました。

また、ナカンダ浜の下には弥生時代から古墳時代にかけての製塩土器が眠っており、歴史的にも興味深いところです。

瀬戸内国際芸術祭2022沙弥島会場ともなっており、多くの方がナカンダ浜を満喫されているでしょう。（若谷）



久しぶりに本棚に目をやると単行本に挟まれて所在なさげにしている文庫本に目が留まりました。「地名アイヌ語小辞典」（知里真志著・北海道出版企画センター）「ん…何！」20年ほど前の記憶がよみがえる。

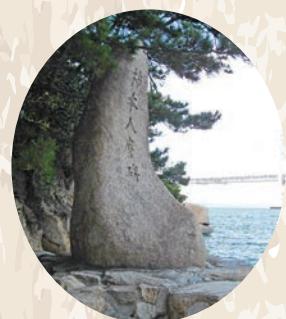
「オソゴエの浜！」皆さんよくご存じの柿本人麻呂と愛恋無限の碑がある浜です。「オソゴエって何？」誰も気にしていない。どこをどうたどったのか、誰かにご教授いただいたのか、今では定かではありませんが前述の本にたどり着きました。

【osor-kot オソルコッ（オショルコッ）】

「osorは『尻』、kotは「くぼみ」尻もちをついた跡のくぼみの意。各地にOsorkochiという地名があり、海岸の段丘に尻餅の形にくりぬいたような窪地にその名がついている。」（同書80ページから引用）

「Osorkochi」の正確な発音は分かりませんが、アイヌ語源の地名のそばには必ずと言っていいほど縄文遺跡があるそうです。

諸説の1つですが、悠久の歴史に思いを馳せながら瀬戸内国際芸術祭、春会場の沙弥島を散策、ナカンダ浜のフォトスポットで写真をパチリ。いかがでしょうか。（若杉）



編集後記

「駕籠(かご)に乗る人担ぐ人そのまた草鞋(わらじ)を作る人」という言葉があります。「様々な人々がそれぞれの立場で社会を支えていく。だから普通の生活ができる。だからこそ感謝の気持ちを忘れてはならない。」と私は解釈しています。

今、コロナ禍によって「普通の生活」ができなくなっています。医療関係者の皆様をはじめ、エッセンシャルワーカーの皆様のご苦労に心から感謝します。

3月定例会では坂出の皆様が、「普通の生活・将来の展望が開ける生活」を送れるよう、令和4年度予算案を審議しました。紙面にその一端を掲載しましたので、ぜひご一読ください。（若杉）

次回開催は…
5月臨時会を5月中旬に、
6月定例会を6月中旬に、
開催予定です。



広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……丸岡豊和
委員……山条真嗣 脇 芳美 東原 章
鳥飼年幸 若谷修治 若杉輝久



HP
QRコード